参加表明書兼秘密保持誓約書

令和　　年　　月　　日

酒田市長　矢 口　明 子　　宛

提案者

　所在地

　会社名

　代表者　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　印

令和　６年１月９日付け酒田市告示第　　　号で公告のありました酒田市内部業務システム更新業務委託プロポーザルに係る公募型プロポーザルに参加したいので、関係書類を添えて提出します。

　なお、実施要領の４の参加資格要件を満たしていること及び添付書類の内容について、事実と相違ないことを誓約いたします。

　また、\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_（以下「乙」という。）は、酒田市内部業務システム更新業務プロポーザル（以下「本調達」という。）への企画提案を検討するにあたり、酒田市（以下「甲」という。）が乙に開示する秘密情報の取扱いについて、以下のとおり秘密保持誓約書（以下「本誓約書」という。）を提出いたします。

１　この誓約でいう秘密とは、文書、口頭その他の方法によることを問わず、甲が秘密として指定した上で開示される業務の仕様書等の情報で、公には入手できない情報をいい、第三者に開示又は漏洩しないこと。ただし、次の各号のいずれかに該当するときは、この限りではありません。

　（１）　開示された時点で、既に公知となっていた情報

（２）　開示された後、責によらず公知となった情報

（３）　開示された時点で、既に保有していた情報

（４）　開示された後、第三者から秘密保持義務を負うことなく適法に取得した情報

（５）　正当な権限を有する第三者から開示を要請された情報

２　厳に秘密を保持するものとし、甲の書面による事前の承認なくして、第三者（役員及び従業員並びに業務を委託する事業者並びに弁護士、公認会計士、税理士その他の顧問契約をしている助言者を除く。）に対して、秘密を開示しないこと。

３　甲の書面による事前の承認なくして、秘密が記録された文書及び電磁的記録を複製しないこと。

４　秘密が漏洩することがないよう、甲から開示された秘密が記録された文書及び電磁的記録並びに甲の事前の承認を得て作成した複製物（以下「秘密情報」という。）を施錠可能な場所への保管等適切な措置を講じること。

５　業務の目的の範囲内で役員及び従業員並びに業務を委託する事業者並びに弁護士、公認会計士、税理士その他の顧問契約をしている助言者に対して秘密を開示するときは、これらの者に対しても秘密を保持すること。

６　秘密を業務のために必要な限りにおいて利用するものとし、業務以外の目的に一切利用しないこと。

７　業務の終了日又は甲から請求があったときは、秘密情報を速やかに廃棄又は甲に返還すること。

８　本誓約に定める秘密保持及び利用制限に関する義務は、各秘密の開示を受けた日から発生し、秘密情報の返還後も有効に存続すること。

９　この誓約に違反したときは、違反状態の改善の義務を負うこと。

10　秘密を外部に開示又は漏洩したときは、これに起因する甲又は第三者の損害の賠償の責に応じること。

本書の内容を順守することを誓約します

連絡担当者

|  |  |
| --- | --- |
| 担当部署 |  |
| 担当者職氏名 |  |
| 電話番号（内線） |  |
| 電子メール |  |